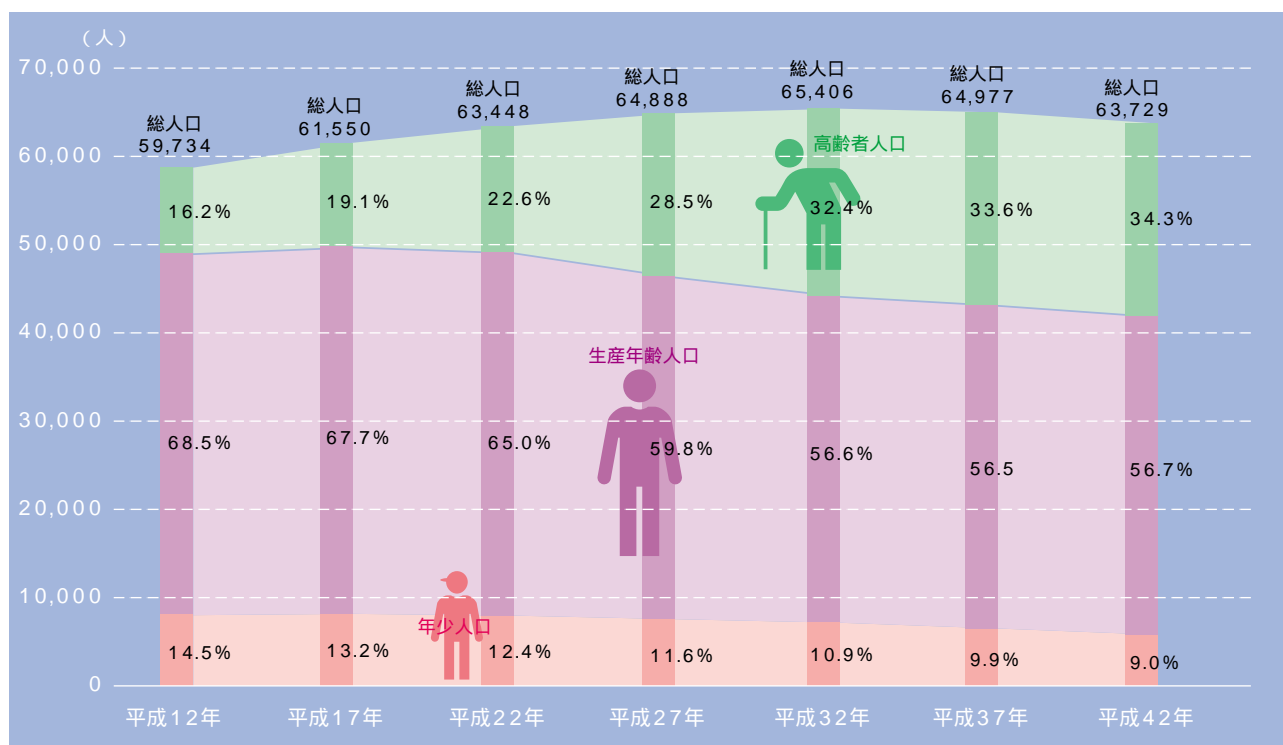


国勢調査を基礎とする人口の将来見通しは平成32年でピークを迎えます。年齢階層別では、年少人口と生産年齢人口は減少傾向に進み、高齢者人口は増加傾向で推移していきます。特に、高齢者比率は平成12年の16.2%から、20年後の平成32年には30%を超え、平成42年には34.3%に達することが推計されています。

3市村全体の将来人口の見通し



資料：国勢調査（平成12年）、国立社会保障・人口問題研究所「小地域簡易将来人口推計」（人口予測）

（注）平成12年の総人口には年齢不詳者を含む。

推計方法について

人口予測に当たっては、厚生労働省に置かれている国の政策研究機関である国立社会保障・人口問題研究所が作成した「小地域簡易将来人口推計システム」による推計方法を用いています。なお、システム上で大きな変動要因となる合計特殊出生率については、「札幌圏地域保健医療福祉計画（H15.3北海道江別保健所）」による算定値を採用しています。（各市村の合計特殊出生率：石狩市1.21、厚田村1.45、浜益村1.66）

